

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-529894(P2004-529894A)

【公表日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-038

【出願番号】特願2002-569771(P2002-569771)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 51/06

C 0 7 C 51/09

C 0 7 C 59/10

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 C 51/06

C 0 7 C 51/09

C 0 7 C 59/10

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月4日(2005.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

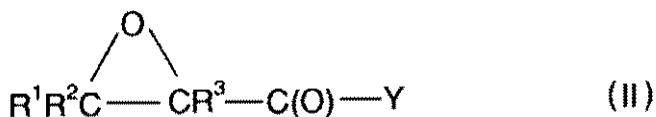
【請求項1】

一般式(I)

$R^1 R^2 C(OH) - CR^3(OH) - COOX \quad (I)$

[式中、 $R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ は、相互に独立に水素、 $C_{1\sim 12}$ -アルキル、 $C_{6\sim 12}$ -アリール、 $C_{7\sim 13}$ -アルカリールまたは $C_{7\sim 13}$ -アラルキルであり、かつ $X$ は、水素、アルカリ金属、アルカリ土類金属/2または $NH_4$ である]のグリセリン酸化合物を製造する方法において、一般式(II)

【化1】



[式中、Yは $NH_2$ である]

のグリシド酸化合物を、エポキシ環に水を開環付加させながら鹼化し、その際、使用された一般式(II)のグリシド酸アミドは、一般式(III)

$R^1 R^2 C = CR^3 CN \quad (III)$

のアクリロニトリルを過酸化水素と反応させることにより製造される、グリセリン酸化合物の製法。

【請求項2】

$R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ は、独立に水素または $C_{1\sim 6}$ -アルキルである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> が水素である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

鹹化を酸性接触または塩基性接触により実施する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

一般式 (I I I) のアクリロニトリルを過酸化水素と反応させた後に、反応していない一般式 (I I I) のアクリロニトリルおよび他の副生成物を蒸留により反応混合物から分離する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

一般式 (I I I) のアクリロニトリルを過酸化水素と反応させた後に、反応していない過酸化水素を分解する、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

鹹化の際に生じるアンモニアを留去する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

塩基性接触鹹化の後に生じる一般式 (I) のグリセリン酸塩を遊離グリセリン酸に変換する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の方法。